

# THE JOURNAL OF OHARA INSTITUTE FOR SOCIAL RESEARCH

No. **719・720** September・October 2018

## Special Issue : Poverty and Public Opinion

- Introduction to the Special Issue ..... HORIE Takashi  
 Media and Attitudes toward Public Assistance Focusing on Social Media ..... ABE Aya  
 Who Oppose to Re-distribution Policy? ..... ODAGAWA Hanako  
 How Japanese Newspapers Report Public Assistance? ..... HORIE Takashi  
 What are Present Issues Regarding "Journalism on Poverty" in 21st Century  
 from the Point of Professional Journalists' View? ..... MIZUSHIMA Hiroaki  
 Poverty Coverage in British Popular Media : Its Influence on Welfare Reform  
 under the Coalition Government ..... SUZUKI Munenori

## Lecture

- Collecting Historical Materials for Japanese Economic History ..... TAKEDA Haruhito

## Article

- A Study Regarding Internal Reserves of Social Welfare Corporations  
 ..... KUNIMI Mariko

## Book Reviews

- MURAKAMI Hiroshi, *A Study on the Socialist Market Economy and  
 State-owned Enterprises in China : With a Focus on the Sector of the Mining  
 and Manufacturing Industries* ..... SHIBATA Tsutomu  
 WATANABE Takashi (ed.), *Archive-based Studies on the Current Research and  
 Education concerning History* ..... SHIMIZU Yoshihito

Annual Report of the Ohara Institute for Social Research

Bibliography of Publication on Labour and Social Issues

Monthly Research Meeting ..... IGARASHI Chihiro

The Institute's Activities in May and June 2018

## OHARA INSTITUTE FOR SOCIAL RESEARCH

4342, Aiharamachi, Machida-shi, Tokyo, 194-0298, Japan

web site : <http://oisr-org.ws.hosei.ac.jp/>

e-mail : [oharains@adm.hosei.ac.jp](mailto:oharains@adm.hosei.ac.jp)

編集(兼)発行人  
 法政大学大原社会問題研究所  
 〒194-0298 東京都町田市相原町4342 TEL 042(783)2305

定価2,000円(本体1,852円)  
 年間購読 12,000円(税込)

# 大原社会問題研究所雑誌

**719・720** 2018.9・10

## 【特集】貧困と世論

- 特集にあたって 堀江孝司 1  
 メディアと生活保護に関する意識——ソーシャルメディアに焦点をあてて 阿部 彩 3  
 再分配反対論者はどのような人々か?——日本における貧困観 小田川華子 19  
 新聞報道に見る生活保護への関心——財政問題化と政治問題化 堀江孝司 37  
 報道者が考える“貧困ジャーナリズム”の21世紀の課題 水島宏明 51  
 イギリスの大衆メディアにおける貧困報道  
 ——連立政権下の福祉改革への影響を中心に 鈴木宗徳 71

## ■講演

- 経済史研究と資料 武田晴人 86

## ■論文

- 社会福祉法人の内部留保に関する一考察  
 ——高齢者・障害者・児童の主要3分野の横断的分析 國見真理子 105

## ■書評と紹介

- 村上 裕著『中国・社会主義市場経済と国有企業の研究  
 ——鉱工業部門についての考察』 柴田 努 126  
 渡辺尚志編『アーカイブズの現在・未来・可能性を考える  
 ——歴史研究と歴史教育の現場から』 清水善仁 130

法政大学大原社会問題研究所2017年度の歩み 135

社会・労働関係文献月録 152

月例研究会 五十嵐千尋 155

所報 2018年5・6月 156

発行／法政大学大原社会問題研究所

発売所／法政大学出版局 3330-55001-7710

〒102-0071 東京都千代田区富士見2-17-1

TEL 03(5214)5540

郵便振替口座 00160-6-95814

一年間に起きた社会・労働分野の変化と  
課題がわかる貴重なデータブック

最新2018年版 第88集

# 日本労働年鑑

法政大学 大原社会問題研究所 編

—おもな内容—

序章 政治・経済の動向と労働問題の焦点

## 〈特集〉 労働教育の現状と課題

- 第1部 労働経済と労働者生活
- 第2部 経営労務と労使関係
- 第3部 労働組合の組織と運動
- 第4部 労働組合と政治・社会運動
- 第5部 労働・社会政策

〈付録〉 労働組合の現状 / 労働組合名簿 / 統計・事項索引 / 年表

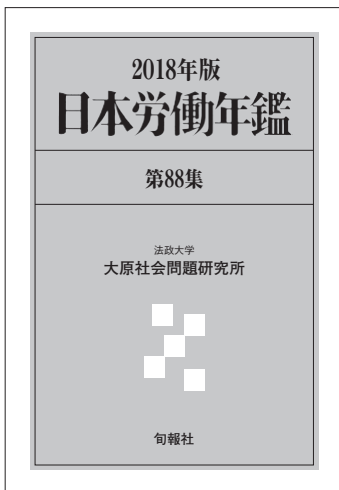
ハーバード大学歴史学部教授(日本近現代史、労働史)  
アンドルー・ゴードン

『日本労働年鑑』は、日本の社会、政治、社会政策の現在と過去の変容に関心のある人にとって貴重な情報源となります。過去50年で、おそらく今日ほど労働問題とそこから派生する経済、教育、社会福祉、社会運動の諸分野の課題が多くの人々の関心と呼んでいる時期はありません。私がこれらの問題について調べるとき、バランスのとれた詳しい情報源として最初に参照するのは『日本労働年鑑』です。

推薦  
します

### 本年鑑5つの特徴

- ① その年に起きた社会・労働分野の変化や問題、課題を正確に記録、解説。「特集」と「5つの基本テーマ」で構成、収録。
- ② 特に重要なテーマについては、「特集」でさらに深く詳しく解説。
- ③ 政治・経済・経営・社会保障などの視点からも論述。
- ④ 理解が深まる豊富な図表とグラフ。
- ⑤ 社会全体の動きやポイントになる出来事を6つの分野に分けて「年表」で巻末に収録。



本体15,000円+税  
A5判・上製・504頁

旬報社 〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町544 中川ビル4F  
電話(03)5579-8974 FAX(03)5579-8975 http://www.junposha.com/

# 日本労働研究雑誌

No.699 2018年10月号 定価 852円+税 年間購読 11,040円(税込)

## 特集「男性労働」

- 提言 ジェンダー/セクシュアリティ視点からの男性労働研究を 木本喜美子
- 論文 男性1人働きモデルの揺らぎとその影響 小笠原祐子
- 男性労働に関する社会意識の持続と変容  
——サラリーマン的働き方の標準性をめぐって 多賀 太
- 女性に偏る職業で男性は何をしているか——男性保育者の事例から 中田 奈月
- 育児・家事と男性労働 石井クソ昌子
- 男性介護者の介護実態と支援課題 津止 正敏
- 剥奪(感)の男性化 Masculinization of deprivation をめぐって  
——産業構造と労働形態の変容の只中で 伊藤 公雄
- 紹介 性の多様性を前提にした職場環境づくりを考える 村木 真紀
- 書評 西岡由美著『多様化する雇用形態の人事管理——人材ポートフォリオの実証分析』高橋 康二
- 論文Today デジタル化された労働世界における争議行為 植村 新
- フィールド・アイ ニューヨークと労働法の死にゆく国(ニューヨークから③) 池田 悠

独立行政法人 労働政策研究・研修機構 〒177-8502 東京都練馬区上石神井4-8-23  
☎03-5903-6255

# 労働の科学

Digest of Science of Labour

8

2018年8月号 定価 1,200円(税込) 2018年9月号  
73巻8号 年間購読 12,000円(税込) 73巻9号

9

### 【特集】広がる産業安全保健の国際協力

- ◆巻頭言：国際交流・国際協力が切り開く産業安全保健の未来……………堤明純
- ◆産業安全保健国際協力の意義と課題……………小木和孝
- ◆職場の熱中症対策に関する国際的活動……………堀江正知
- ◆ワーク・エンゲイジメントと産業保健心理学の国際動向……………島津明人
- ◆若手研究者国際ネットワークのこれから……………吉川悦子
- ◆産業安全保健国際協力の経験と今後の期待……………吉川徹
- ◆韓国で見た参加型交流の意義と成果……………李明淑
- ◆笑顔と成果を支える参加型改善活動……………長須美和子
- ◆労研の国際協力の歴史と新たな課題……………佐野友美

### 【特集】孤立する職場、つながり合う職場

- ◆巻頭言：けれど、孤立を恐れないで……………毛利一平
- ◆求められる労働における「自己決定」——職場と地域で人がつながるために……………禿あや美
- ◆働く人たちの参加する個人と組織の活性化手法——職場のソーシャル・キャピタルとジョブ・クラブ ティング……………江口尚
- ◆悶える職場——パワハラ激増の真犯人は?…金子雅臣
- ◆職場のつながり、連帯感の希薄化がもたらす労働者への心理的影響……………松本みゆき
- ◆ゆとりなき職場風土の改善——労働組合の役割・年休完全取得運動を……………横山但

〒151-0051 公益財団法人 大原記念労働科学研究所  
渋谷区千駄ヶ谷1-1-12 桜美林大学内3階  
TEL: 03-6447-1435 (事業部)  
FAX: 03-6447-1436  
HP: http://www.isl.or.jp/